

新宮山彦ぐるーぷ第2163回

### 行仙宿巡回整備

実施日 1月30日(日)

晴時々曇り

参加者 梶野照雄

1名

真冬の寒い時期で屋外の連続した作業が困難なこともあり、23日と30日の2回に分けて実施した。

23日に水場のしめ縄取り付け部にアンカーを打ち込み、手前で簡単にしめ縄の交換ができるようにした。また、ロープの固定用に2ヶ所にアンカーを打ちこんで、チェーンを取り付けた。地デジ用のアンテナの向きを修整、実際に受信してみたが、ケーブルの接触不良なのか受信できなかった。



しめ縄の取り付け部

チェーンを取り付け

受信できず

30日は、確実に接続できるケーブルを用意して行仙宿に向かった。R425に残っていた雪は殆どが溶けて、わずかに工

事予定の橋上だけが氷になっていた。登山口の林道にも積雪は無く、地面が見えていた。

今日はケーブルの交換だけなので、帰りに浦向道を調査しようと思いついて登る。第2ベンチ付近は積雪が残っているが、表面が凍り付いているので、滑らないように注意した。行仙宿周辺も積雪は無く、除雪は必要なかった。



雪が消えた登山口

第2ベンチ付

近気温は0℃

玄関横の温度計は0℃を指していた。ケーブルを交換して受信してみようと発電機を始動したが、圧縮が異常に高く、いつものようにスターターを引くことが出来ない。20回ほどやってみたが状態は変わらずで、発電機の始動を諦めた。

午後1時過ぎ、行仙宿を離れる。浦向道分岐から林道までを調査、林道を歩いて登山口に戻る行程だ。

浦向道に入ってからすぐ、最初の倒木があった。枯れ木で根元が腐って折れていた。そこから5分ほどで少し太い倒木が登山道を塞いでいた。これも腐った根元が折れていた。

川島橋までに5本の障害木があったが、太いものは一本だけだ

った。川島橋から先にも数本の倒木があったが、細いものばかりで、ノコで対処できそうだった。

の水たまりは全て氷になって、足を置くとすぐに滑る状態だった。(記：梶野)

### 行動タイム

10:10 補給路登山口→11:22 行仙宿 13:12→13:28 浦向道分岐  
↓13:39 川島橋→14:06 林道出会→14:46 補給路登山口



浦向道分岐



倒木



川島橋、異常なし



林道出会



登山口に帰着

午後2時過ぎ、林道に降り立つ。ここにも積雪は残っていない。途中、落石を取り除きながら歩き、登山口に到着した。この間